ひまわり便り

2023年4月 No.92

安心してトイレに行けるよ

明るいトイレで気持ちよく　～ひよこ保育園の事例～

間仕切りのないトイレでは
落ち着いて用を足せませんでしたが、

保育士さんの目が届きやすい高さの
間仕切りがあり、
取りやすい位置に
ペーパーホルダーがついた
新しいトイレは
園児にも保育士さんにも好評です。

働く保育士さんを応援

ひまわり建築工房

TEL：052-880-8959

E-mail: t.ikeda@himawarikoubou-co.com
名古屋市昭和区川名町3-11　池田 孝生

園庭整備、遊具設置、防音対策、クロス張替え等の内装工事、塗装、家具製作
空調・電気・ガス・水道工事、扉やドア等の建具修理、フェンス設置etc...
お困りごとがありましたら気軽にご相談ください。

HPはこちら

私の園児日記　～泣き虫～

2023年4月1日

私が園児だった頃を両親に聞きました

　保育園で働く園長先生、保育士さん、保健士さん、栄養士さんに、どんな話が喜ばれるだろうとの思いから、両親に私の園児時代の思い出を聞きました。私の記憶には泣いて保育園に行けなかった事、昼寝はいつも寝小便をした事しかありません。私の父は８１歳、母は７８歳で、頭もしっかりしています。よし、両親に聞こうと思い立ち、コメダ珈琲店で１時間半のインタビューに及びました。

泣いて母の手を離さない

　私の記憶にも、泣いて親の手を放さず保育園に行こうとしなかった想出があります。当時の保育園では、園から少し離れた空き地にお母さんと子どもが集まり、そこから子ども達を保育士の方が引卒する習慣がありました。昭和４４年３月生まれで、２歳になったばかりの私です。私は泣いて母の手を放さず、それでも強引に離された私は泣きながら園に向かいました。又５月の遠足では、弟が生まれたので同行するはずの母がいません。代わりに祖母が手を繋いでくれ、一緒に遠足に行きました。集合写真では、一人祖母の手を離さず写っております。

父が躾けた

　その事を最近母は私にこう話しました。子どもは環境が変わる事を感じている、だから頭を使っている証拠なんだと。母も本から教えて貰ったと言いました。暫くしてそんな泣き止まない私を見るに見かねた父が、叱ったそうです。その時以来、辛抱して泣かずに保育園に通ったと父に言われました。新しい環境になじむ事を少しずつ覚え、愛と社会の規律を教えてくれた両親と保育士さんに。心からありがとう。

ひまわり建築工房合同会社　　名古屋市昭和区川名町３丁目１１
代表社員　池田孝生　　〒466-0856 TEL052-880-8959/Fax052-880-2141
メール　t.ikeda@himawarikoubou-co.com